

trans_2010-2011 : 秋吉台国際芸術村レジデンス・サポート・プログラム応募要項

レジデンス・サポート・プログラムは、あらゆるジャンルの世界中の若い芸術家たちの新しい表現活動を支援するとともに、地域の人々との交流を通じて地域の芸術文化を高めることを目的としたプログラムです。支援アーティストは選考委員会による厳正な審査を経て決定されます。アーティストは滞在中、芸術村スタッフとの共同作業を通じて、制作のためのアイデアや作品を生み出していきます。また、アーティストには意欲的に様々なプロジェクトに取り組むことが望まれ、創作活動とともに、その成果発表や地域交流プログラムなどを積極的に行っていただきます。

レジデンス実施期間

2011年1月11日（火）－ 3月21日（月）[70日間]

募集の対象・人（組）数

- 若手アーティスト（40歳以下）※芸術のジャンルに制限はありません（個人/グループ）
- 海外居住者2名（組）
- 国内居住者または海外に居住する者で日本国籍を有するもの1名（組）
（家族および共同制作者の同伴はできません）

応募条件

- 選定された場合、指定の実施期間中、芸術村に滞在できること。（若干の変更についてはご相談ください）
- 滞在期間中に、展覧会、公演、作品発表などの成果発表を行うこと。
- トーク、レクチャー、ワークショップなどの地域交流プログラムを積極的に行うこと。
- 英語で意思の疎通ができること。
- 制作風景や作品展示、ワークショップ時の記録写真などを、秋吉台国際芸術村に提供する意思があること。
- 地域の学校で教育プログラムを実施できること。

支援内容

- 居住地と芸術村間の往復旅費（芸術村の算出基準に基づいて算出）
- 宿泊施設（芸術村付属の滞在施設を無償提供）
- スタジオ（各種タイプ、広さがありますが、スタジオの割り当ては芸術村で決定します。）
- 滞在活動支援費＝約 23 万円（個人） / 約 28 万円（グループ） ※支援額には変更の可能性がります。
- 日当＝¥2,800×滞在日数 ※支援額には変更の可能性がります。
- 保険（滞在中の一般的な傷害保険です。それ以外の保険については各自でご負担ください。）

応募方法

- 応募用紙（コピーまたは同じ様式で作成したものでも可）にすべての必要事項を記入してください。
 - ワープロで作成した CV（作家歴）と、ジャンルごとに資料を添付してください（詳しくは「応募用紙」に記載してあります）。
 - 自作についての新聞や批評誌の記事（英語または日本語）があれば添付してください。
- ※応募資料の返却のご希望には一切応じることはできませんので、ご了承ください。
- ※電子メール／FAX／電話による応募は受け付けいたしませんので、ご了承ください。
- ※個人情報の取扱い：応募いただいた内容は、秋吉台国際芸術村レジデンス事業以外の目的には決して使用いたしません。

応募締切

2010 年 7 月 31 日（土）[必着]

- この期日を過ぎて到着した応募用紙は受け付けいたしません。
- 応募用紙、資料に不備のある場合は、応募を受け付けいたしません。

決定時期

2010 年 10 月初旬

- 応募者の中から 3 名（グループの場合 3 組まで）が選ばれ、結果は全応募者にお知らせいたします。

応募・問い合わせ先

〒754-0511

山口県美祢市秋芳町秋吉 50 秋吉台国際芸術村 レジデンス事業係

TEL: 0837-63-0020 FAX: 0837-63-0021

URL: <http://www.aiav.jp/> e-mail: trans2010@aiav.jp

運営組織

主催 山口県文化振興財団 秋吉台国際芸術村

後援 山口県、山口県教育委員会、美祢市、美祢市教育委員会

芸術村の施設について 施設のご案内

レジデンス事業では、アーティストは下記のスタジオ及び研修室を使用します。

○研修室 1 94 m² 床面にクッション材を入れダンス仕様としています。

○研修室 3 94 m² 天井高約 7m の大きめのスペースです。

○スタジオ 1 49 m² 東面がガラス張りの開放的な空間です。

※使用するスタジオについては、応募用紙で希望を伺っておりますが、最終的な割り当ては選考委員会での審査を通じて決定されます。ご了承下さい。

秋吉台国際芸術村 施設概要

□所在地 山口県美祢市秋芳町秋吉 50

□設立 1998 年 8 月 25 日

□本館棟 ホール、アンフィシアター、パフォーマンスステージ、
研修室 3 室（1 室はダンス仕様）、スタジオ 7 室、ギャラリー

□宿泊棟 暗室、宿泊室、サロン、共同キッチン、レストラン

□備品 舞台器具、音響器具、楽器、暗室備品各種、デジタルビデオカメラ、
ビデオデッキ、イーゼル、電動ドリル、チェーンソー、
ディスクグラインダー、金工・木工台、万力、など

※滞在期間中の交通手段としてはレンタカー、自転車、或いはバス、電車などとなります。

※滞在中の食事は、芸術村内のレストラン、または、共同キッチンでの自炊となります。